★暗雲立ち込める帝国を舞台に赤き制服を纏う少年少女が道を切り拓く!!
TRISTA STATION
エレボニア帝国中央
帝都《ヘイムダル》近郊
小都市トリスター――
わい
わい
『閃の軌跡』コミカライズ
ついに連載スタート!
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
センノキセキ
第1回
原作:日本ファルコム(『英雄伝説 閃の軌跡』)
脚本:恵村まお
漫画:さがら梨々

皇立教育機関
《トールズ士官学院》
ここがトールズ士官学院……
かのドライケルス大帝が創設したと伝えられる学校か……

街の雰囲気もいいし…
ここで2年間過ごすんだな
コッ
コッ
きゃっ

あいたた…
わっ ごごめん！
大丈夫か？すまない花を見ていてつい…
ふふっ
気にしないで私もよ

あら……同じ赤の制服ね？
あ…ほんとだ
周りの皆はほとんど緑色な気がするけど…？
もしかしたら…
私たち同じクラスかもしれないわね！
それじゃ！
あっ
名前…
聞いておくんだった

制服の色…
何か意味があるのか…？
そういえば
制服と一緒に送られてきた装置にも何の説明もなかったな……
お疲れ様です士官学院に到着いたしました
ご苦労
この学院には大貴族の子弟も入学してきているみたいだな
たっ
たっ
たっ

《トールズ士官学院》へようこそ!
たっ
ばっ
リィン・シュバルツァー君——でいいんだよね?
それが申請した品かい? いったん預からせてもらうよ
ちゃんと後で返されるから
あ はい…
あの どうして自分の名前を?
えへへ
ちょっと事情があってね…
?
入学式はあちらの講堂だよ
入学おめでとう! 充実した2年間になるといいね!

士官学院入学式——
最後に君たちにひとつの言葉を贈らせてもらおう
——……
『若者よ——世の礎たれ』
〝世〟という言葉をどう捉えるのか 何をもって〝礎〟たる資格を持つのか
自分なりに考え学院で切磋琢磨する手がかりにして欲しい
——ワシの方からは以上である
あれがヴァンダイク学院長か……
君も赤い制服なんだね

僕は エリオット
エリオット・クレイグ 君は？
リィン・シュバルツァーだ よろしくな
確かにほとんどの新入生は緑色… 赤は少数のようだが
あ 向こうに白い制服の新入生もいるよ 貴族かな？
そうみたいだな だが…
――以上で《トールズ士官学院》第215回・入学式を終了します
以降は入学案内書に従い指定されたクラスへ移動すること――
以上――解散！
ガタ
ガタッ
え？
クラス指定なんてされたっけ？
いや この場で発表されると思っていたんだが…
ぞろ ぞろ
？
はいはーい☆ 赤い制服の子たちは注目～！
実は ちょっと事情があってね～
――君たちにはこれから『特別オリエンテーリング』に参加してもらいます！
え……!?
特別オリエンテーリング……？
ふむ……？
……
まぁ すぐに判るわ それじゃあ全員 あたしについて来てー

士官学院 旧校舎
えっと……どういう事なのかな?
分からないが……とにかく行ってみよう
こ ここって……
士官学院の裏手……ずいぶん古い建物みたいだな
………
さっ 入って～♪
こんな場所で何を……?
カッ
ガチャ

あたしはサラ・バレスタイン
今日から君たち《VII組(ななくみ)》の担任を務めさせてもらうわ よろしくお願いするわね
!?
な… 《VII組》……!?
あ ああの……サラ教官?
この学院の1学年のクラス数は身分や出自に応じて分けた5つだったと記憶していますが…
その通りよ 去年まではね
今年からもうひとつのクラスが新たに立ち上げられたの
すなわち君たち――身分に関係なく選ばれた
特科クラス《VII組》が

特科クラス…《Ⅶ組》……!?
み 身分に関係ないって本当なん──
冗談じゃない!!
身分に関係ない!?
そんな話は聞いていませんよ!?
ばっ
えっと君は……
マキアス・レーグニッツです!
サラ教官…まさか貴族風情と一緒のクラスでやっていけって言うんですか!?
えっ そう言われても〜…
同じ若者同士なんだからすぐに仲良くなれるんじゃない?
そんなわけないでしょう!
フン…
……
……君
何か文句でもあるのか?
別に
「平民風情」が騒がしいと思っただけだ
!
これはこれは…その尊大な態度……さぞ名のある家柄と見受けるが?
……ユーシス・アルバレア
「貴族風情」の名前ごとき覚えてもらわなくても構わんが
し《四大名門》……!
ざわっ
アルバレア公爵家…大貴族の中の大貴族ね
ふぁ〜

だ だからどうした!? その大層な家名に誰もが怯むと思ったら……!
パンパン
はいはい そこまでー
色々あるとは思うけど 文句は後で聞かせてもらうわ
そろそろ オリエンテーリングを 始めないと いけないしねー
くっ……
その… オリエンテーリングって 何なんですか?
それじゃ いくわよー♪
ぐっ
？？？？
ポチリ。
ガタン
うわっ!?
ぐらっ…

床が…!?
ズルズルー
落ちる…!
!
ずるぅっ
きゃあっ…!?
くっ…!
ばっ
……こら フィー
ぶら〜ん
サボってないで あんたも 付き合うの!
なに 逃げてるのよ!!
ね〜
メンドクサ……

うぅ……
あいたた…
ここは……
先ほどの建物の地下か
……やれやれ不覚を取ってしまったな
スタッ
はぁ～っ……心臓が飛び出るかと思ったよ
リィンは大丈……
ぎょっ
……
ううん…
もぞ…

何なのよまったく……!
あの……
ゴゴゴゴ
その……何と言ったらいいのか……
もご
もご
な…
な…?
ゴゴ
さ…災難だったね
厄日だ……
フン!
イタイ

アルゼイド……？ 確か 子爵家の名前 じゃないか…!?
子爵…!?
ラウラ・S・アルゼイド レグラムの出身だ 以後 よろしく頼む
私の父がその子爵家の当主だが… 何か問題でもあるのか？
自己紹介しようというから名乗ったまでだ
いいや……
レグラム…
ああ 帝国の南東の外れにある古めかしい町だ
エマといいます エマ・ミルスティン
私も辺境出身で…… 奨学金頼りで入学しました
ガイウス・ウォーゼルだ
帝国に来て日が浅いから宜しくしてくれると助かる
僕はエリオット・クレイグ
リィン・シュバルツァーだ よろしく
じー
なんとか謝れないものか…
どうした？ そなたも自己紹介くらいした方が良いのではないか？
――アリサ・R
ルーレ市からやって来たわ よろしくしたくない人もいるけど…まぁ それ以外はよろしく
うっ
……
フィー・クラウゼル フィーでいいよ…
フン…
……

PRRR
!?
PRRR
これは…
PRR…
入学案内書と一緒に送られてきた携帯用の導力器か
カパ
それはエプスタイン財団とラインフォルト社が共同で開発した次世代の戦術オーブメントのひとつ…
第五世代戦術オーブメント《ARCUS》よ
サラ教官の声!?
戦術オーブメント……魔法が使えるという特別な導力器のことですね
そう 結晶回路をセットすることで魔法が使えるようになるわ
その部屋に君たちから預かっていた武具と特別なクオーツを用意したわ各自受け取りなさい
パッ
あっ朝預けた僕の荷物！

それは《マスタークオーツ》ARCUSの中心に嵌めれば魔法が使えるようになるわ
パー
カチ
——皆同期したわね これでめでたく魔法が使用可能になったわ
ガー
ガコン
…それじゃあさっそく始めるとしますか！

オリエンテーリングの内容よ
各自 この先のダンジョン区画を抜けて旧校舎1階まで戻ってくること
ダンジョン…?
まちょっとした魔獣なんかも徘徊してるんだけどね☆
ええっ!?
♪
文句があったらその後に受け付けてあげるわ
何だったらご褒美にホッペにチューしてあげるわよ☆
そんな…魔獣だなんて…!
だが…行くしかないみたいだ
ああ…!
スッ
いいわね…
──これより士官学院・特科クラス《VII組》の特別オリエンテーリングを開始する!
訳も分からぬまま開始された
危険なオリエンテーリング……
リィンたちは無事に乗り越えることができるのか!?

旧校舎地下――
リィン！とどめを！
よし！
たぁっ！
★旧校舎地下で行われるオリエンテーリング 魔獣の中を突き進むリィンたちだが……
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第2回
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々

ふぅ……結構奥まで進んだな
はぁぁ～っ……
へなへな
エリオット大丈夫か？
ううん……緊張しっぱなしで気が抜けちゃったみたいで……
ふたりとも凄いなぁぜんぜん平気みたいだし…
まぁ慣れの違いだろう
本当 ふたりだけでも一緒に行動してくれてよかったよ
女の子たちは別行動するって言うし
あの問題ありそうなふたりもいがみ合いながら行っちゃったしね
ああ…みんな無事だといいけど
……！
何様のつもりだ!?
……その例のふたりは無事なようだな
その傲岸不遜な態度……
アルバレア公爵家といえば 帝国で一二を争う大貴族

さぞ僕たち平民のことを見下しながら生きてるんだろう!?
まだやってる……
広い部屋だね…
そろそろ終点か…?
帝都知事……?
お前にそんなことを言われる筋合いはないな
レーグニッツ帝都知事の息子マキアス・レーグニッツ
っ……
ああっそういえばレーグニッツって……!
お前の父親は帝都ヘイムダルを管理する初の平民出身の行政長官……
ただの平民というには少しばかり大物すぎるようだな?

レーグニッツ帝都知事といえばかの《鉄血宰相》の盟友でもある“革新派”の有力人物だ
そして宰相率いる“革新派”と四大名門を筆頭とする“貴族派”は事あるごとに対立している
だっ…だったらどうした!?
お前のその露骨なまでの貴族嫌悪の言動……
ずいぶん安っぽく“判りやすい”と思ってな
このっ……!
ちょちょっと!?
気持ちは判るがふたりとも落ち着いてくれ!

……
ああ……取り乱してすまない
フン…確かに口が過ぎたようだ
……その…ついでというわけじゃないんだが……君たちの身分は…？
えっと…ウチは平民出身だよ
同じく――そもそも故郷に身分の違いは存在しないからな
……
なるほど留学生か……君は？
ああ……
少なくとも高貴な血は流れていない
そういう意味ではみんなと同じと言えるかな
……そうか
相手が貴族かどうかは念のため知っておきたくてね
……安心したよ
どうやら帝国では身分はかなり重要らしいな
古い国だからね
パラ…
せっ…石像が動いた!?
なっ…!?

ザザザ
アッ
くっ…!
なんだこいつは…!?
ばっ
ズバッ
しゅぅぅ…
なに…?
傷が再生してる…!!
下がりなさいーー!
ギリッ
すみません遅くなりました!
皆 無事のようだな
君たちは……!
石の守護者……暗黒時代の魔導の産物か
あぁ どうやら凄まじく硬いようだ
スッ
だが なんとか勝機を見いだすしかない…

いくぞ！
ばっ
ギャギャアア
ザシュ
今だ…！
はぁっ！
だっ
斬
任せるがよい！
はぁああああっ
ゴロ…

スゥ
……っ！
やったー!!
……
ねぇ今…なんだか不思議な感覚になったんだけど
そういえば……
戦っている間淡い光に包まれていったような……？
ふむ 皆の動きが手に取るように"視えた"気がしたが……
なんだか皆と繋がっているような…そんな感覚があったな もしかしたらさっきのが……
──そう それがARCUSの真価ってワケね
サラ教官！
いや～やっぱり最後は友情とチームワークの勝利よね～♥
パチパチ
──単刀直入に問おう 特科クラス《Ⅶ組》…… 一体何を目的としているんだ？
これにて入学式の特別オリエンテーリングはすべて終了～♪
じーー…
って なによ 君たちのその顔？
なぜ我らが選ばれたのか… 疑問ではあるな
そうね… 君たちが《Ⅶ組》に選ばれた一番の理由は その《ARCUS》にあるわ
ARCUS…？
この最新鋭の戦術オーブメントの真価は《戦術リンク》── 先ほど君たちが体験した現象よ
それって さっきみんながそれぞれ繋がっていたような感覚…？
ええ 例えばどんな状況下でもお互いの行動を把握でき最大限に連携できる精鋭部隊……
仮にそんな部隊が存在すれば あらゆる作戦行動が可能になる戦場において それがもたらす恩恵は絶大よ
ふむ 確かに
理想的かも……

新入生の中で君たちは特に高い適正を示した
コッ
トールズ士官学院はこのARCUSの適合者として君たち9名を見出した
さて── 約束どおり文句の方を受け付けてあげる
コッ
それが身分や出身に関わらずに君たちが選ばれた理由でもあるわ
……なるほど
な なんて偶然なんだ……
でもやる気のない者や気の進まない者に参加させるほど予算的な余裕があるわけじゃないわ
それと本来所属するクラスよりもハードなカリキュラムになるはずよ
それを覚悟してもらった上で《Ⅶ組》に参加するかどうか──
改めて聞かせてもらいましょうか?
ざわ…
スッ
リィン・シュバルツァー ──参加させてもらいます
リ リィン……!
我侭を言って行かせてもらった学院です 自分を高められるのであればどんなクラスでも構いません
なるほどね
元より修行中の身 此度のような試練は望む所だ
オレも同じく異郷の地から訪れた以上 やり甲斐がある道を選びたい
奨学金を頂く身ですし 少しでも協力させていただければ
これも縁だと思うし みんなとはうまくやって行けそうな気がするな
私も参加します まぁテスト段階のARCUSが使われているのは個人的には気になりますけど…
……めんどくさいな じゃ 参加で
全員参加か…
《Ⅶ組》参加を宣言する 勘違いした取り巻きにまとわり付かれる心配もないし むしろ好都合というものだろう
ならば僕も…! 古ぼけた特権にしがみつく時代から取り残された貴族風情にどちらか上か思い知らせてやる!
──それではこの場をもって特科クラス《Ⅶ組》の発足を宣言する!

トールズ士官学院 1年Ⅶ組
──起立
礼
入学式から そろそろ 二週間か～
ぐて～
まさか 武術訓練だけじゃなく 普通の授業のレベルが こんなに高いとは 思わなかったよ…
みんな頭いいし
にしても結構 個性的な メンバーだよね このクラス
そうだな…
僕も置いて いかれないよう 頑張らないと…
むぅ
まぁ 文武両道は 帝国の気風でも あるからな
ただ未だに 問題を抱えている 部分もあるけどな
あはは…
フンっ
お疲れ様 今日の授業も 一通り 終わりね♪
ガチャリ
前にも伝えたと 思うけど明日は 《自由行動日》に なるわ
それと 4月20日の水曜日に 《実技テスト》があるから 体調を整えておくように 今日は以上よ♪
はあい
うああ
実技テスト!? イヤな予感がする……
あっ リィン
ゆうべ預けた 《Ⅶ組》専用の 生徒手帳 皆に 配っておいて くれた?
あ はい
ありがと♪ それと… 悪いけどこの後 生徒会室に 向かってくれる?
はい… わかりました
ガタンッ
なんだかリィン サラ教官に色々 頼まれてるよね?
うーん 確かに…

アリサ
これからクラブ？
ラクロスだっけ
ええ
！
フン！
スタスタ
バタン！！
……。
ゆうべ生徒手帳をわたしに行った時も奪い取られるようだったし…
ばっ
うう……
謝ろうと思っても
それすらさせて
くれないんだよな
がくー。
あはは…
サラ教官といい
アリサといい
苦労が絶えないね
士官学院 学生会館
えーと
生徒会室は
……

ザザ
よっ
後輩君
えっと……？
お勤めゴクローさん
入学して半月になるが
調子の方はどうよ？
あ ええ
……
（どうやら先輩みたいだな）
正直 大変ですけど
なんとか…
授業やカリキュラムが
本格化したら
目が回りそうな
気がしますけど
ま せいぜい
肩の力を
抜くんだな
…そうだ
ちょいと
50ミラコインを
貸してくれねぇか？
え…？
わかってんじゃん
はは
サンクス、
お近づきの印に
面白い手品を
見せてやるよ
手品？

そんじゃあ よーく見とけよ ……？
え…
ぱしっ
さて問題 右手と左手 どっちに コインがある？
あっ… み…右手！
残念 ハズレだ
あれっ…
……参りました 動体視力には結構 自信があったんですけど…
ぱっ
って あれ？ 手品って…
こういう ことさ
えっ…!?
ぱっ
フフン まぁその調子で 精進しろって ことだ
っと…… そういや 言い忘れてたか
——2年V組所属 クロウ・アームブラストだ よろしくな リィン後輩
そんじゃ よい週末を
ザッ
ど どうして 自分の名前を…
なっ
……。
スポーン
……
はー…
……やられた

学生会館 生徒会室
コン コン
はいはーい 鍵は掛かってないから そのままどーぞ
ガチャ
失礼します あ……!
2週間ぶりだね! 生徒会室にようこそ リィン・シュバルツァー君
入学式の時の……! 生徒会の方だったんですね
この学院の生徒会長のトワ・ハーシェルっていいます 改めてよろしくね リィン君
せ 生徒会長ッ!?

困っていることや相談したいことがあったら ぜひ生徒会まで来てね
は はい…
随分小柄だけど2年生なんだな……
で サラ教官の用事でしょ? バッチリ事情は聞いてるから!
リィン君たちは1年なのに感心しちゃうなー
……え? 事情?
生徒会で処理しきれないお仕事を手伝ってくれるんでしょう? 助かるなー
ニコ ニコ
……? えーと……
リィンくんを中心に生徒会の仕事を回してあげてってサラ教官に頼まれたんだけど ……?
……あれ?
……

翌日 士官学院 旧校舎
……で
その生徒会から早速回ってきたお手伝いのひとつが…
ヴァンダイク学院長からの依頼とはな…
ええ~ 荷が重いよ~
サラ教官にはあとでいろいろ言いたいところだな…
引き受けたけど
うーん
旧校舎の地下の調査だそうだが……どうもここ一年様子がおかしいらしい
おかしいって…どういうことだろう?
それを調査するんだろう
助かるよ オレひとりじゃな…
ドクン
!?

……
どうかした? リィン
いや…なんでもない
妙だな…こんな扉ここには無かったような…
え…?
リィンたちの目の前に広がる光景は……?

★特科クラス《Ⅶ組》の"スペシャル"なカリキュラムがついにスタート!

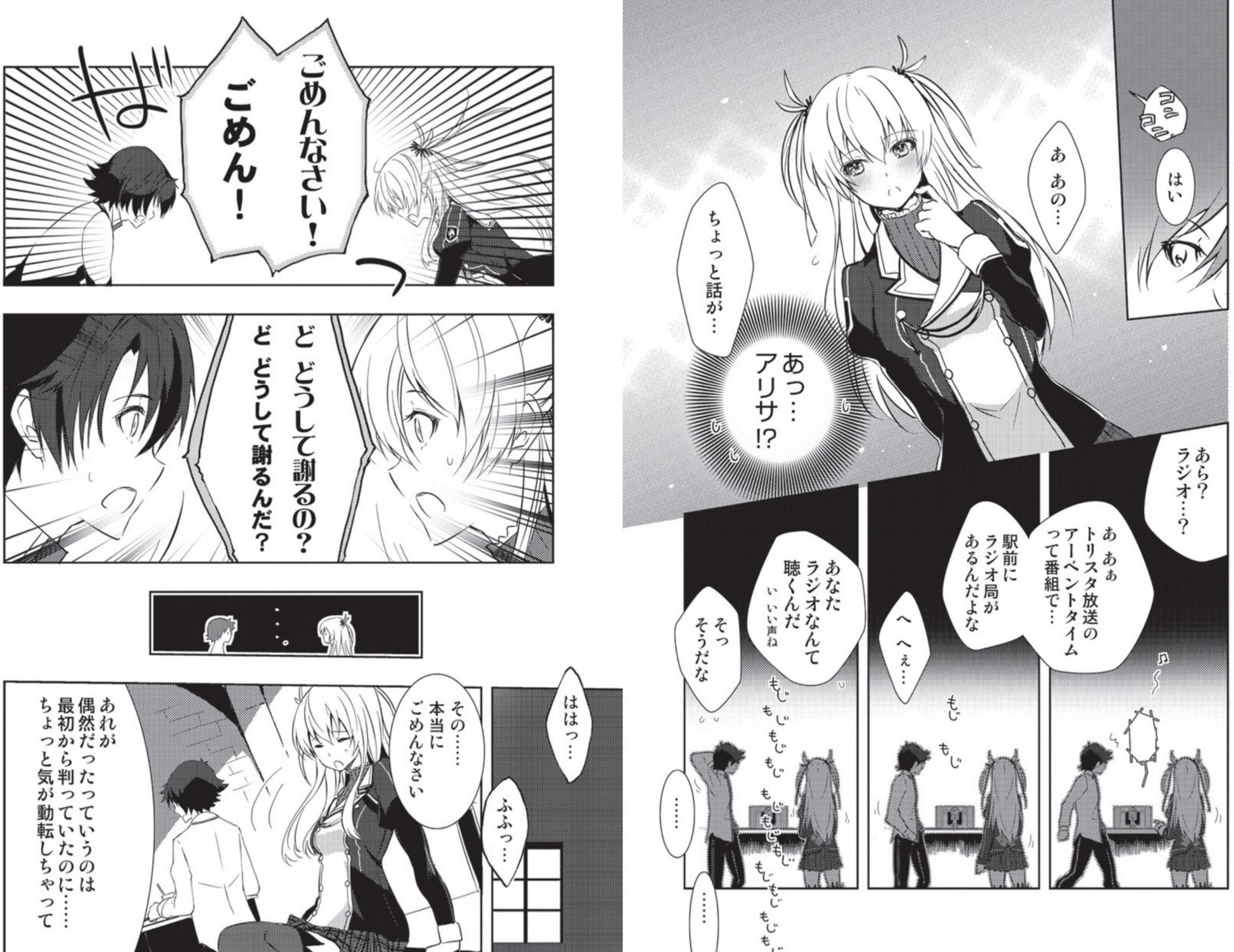
ま
楽しみにしていなさい
じゃ
おつかれ～
……
重要なカリキュラムか……
VII組としての特別な何かが始まるということだよな
ああ
改めて気合いを入れたほうがよさそうだな
その前にテスト大丈夫かな～
……
実技テスト当日——

ふょ
ふょ
やった…！
うんうん♪
リィン
エリオット
ガイウスチームは悪くないわね
旧校舎地下での実戦が効いているんじゃないの？

ま 苦戦した
チームもあるけど
テストは良しと
しましょうか
ハッ
結構 大変
だったわね…
ゼェ
ゼェ
——さて
実技テストは
ここまでよ
ここからは
かなり重要な
伝達事項が
あるわ
君たちには……
《Ⅶ組》ならではの
特別なカリキュラムが
課せられているわ
《Ⅶ組》
ならではの…
ですか？
そう
それはズバリ
……

……
《特別実習》よ！
ばばぁぁん
【４月特別実習】
A班
リィン、アリサ、
ラウラ、エリオット
（実習地：交易町ケルディック）
B班
エマ、マキアス、ユーシス
フィー、ガイウス
（実習地：紡績町パルム）

サ サラ教官
これは一体!?
このA班・B班に分かれて指定した実習先に鉄道で行ってもらうわ
そこで期間中用意された課題をやってもらうの
……
出発は今週末 各自 それまでに準備を整えておくこと
ふふ、実技テストもなんとか乗り越えられたし張り切ってこのスペシャルな実習に取り組んで頂戴
どういうことだ この班分けは……!
えーと……
ありえんな……
はぁ……。。
特別実習前日 学生寮
──ハイ♪ リスナーのみなさん こんばんは
先週から始まりました『アーベントタイム』
進行・パーソナリティーはわたくしこと《ミスティ》が……
こちら帝都近郊《トリスタ放送》より夜9時をお知らせします
明日どうなるかな…… 結局アリサに謝れてないし大丈夫だろうか…
実習期間中 彼女とはずっと顔を合わせる事になる
向こうも気まずいだろう
カタ.
早く何とかしたいところなんだけど……


コンコン
はい
あ あの…
ちょっと話が…
あっ…アリサ!?
あら? ラジオ…?
あ あぁ トリスタ放送のアーベントタイムって番組で…
駅前にラジオ局があるんだよな
へ へぇ…
あなたラジオなんて聴くんだ
いい声ね
そっ そうだな
……
……
もじもじ
ごめんなさい!
ごめん!
ど どうして謝るの?
ど どうして謝るんだ?
・・・。
ははっ…
ふふっ…
その……本当にごめんなさい
あれが偶然だったっていうのは最初から判っていたのに……ちょっと気が動転しちゃって

しかも あれ
私を助けようと
してくれたのよね？
いや いいんだ
気にしないでくれ
よかった
これなら実習中
協力して乗り越え
られそうだ…
ありがとう…
それは
ともかく
貴方に
非がないのは
認めるけど
それとこれとは
話は別だからね!?
へ――
えっと
何の話だ？
だだから
私があなたの顔に
胸を押し付け
ちゃった――
とにかく
思い出すのも
厳禁だから！
い・い・わ・ね!?

特別実習初日――
交易町ケルディック
宿酒場《風見亭》
INN
ええええええ!?
4人
相部屋って
どういう
ことです!?
ゴクゴクゴク

ぷっはあぁぁぁぁぁ！
ごめんね～サラちゃんに強く言われちゃって
やっぱここの地ビールサイコー!!
まだ昼前なんだけど……
ヒッ
そもそも軍は男女区別なく寝食を共にする世界……部屋を同じくするくらいいずれ慣れる必要もあろう
ピコーン
そうだわ いっそ寝る時に簀巻きにでもすれば……！
はい これ 特別実習の内容だよ
あたしはここで楽しんでるから
うふふ
頑張ってねー♪

サラ教官…なんでB班じゃなくてこっちに来たんだろう？
ぷはあ
おばちゃんジョッキもう一杯！
あっちの方が心配な気が…
まさかこの地ビール目当てじゃ…
大丈夫かしらね B班…
ふむ 我らも我らで気を引き締めて行くとしよう
それにしてもこの実習内容の依頼って……
ガサッ
えーと
「東ケルディック街道の手配魔獣」「壊れた街道灯の交換」「薬の材料調達」
……
な…なんか
お手伝いさんというか何でも屋というか……

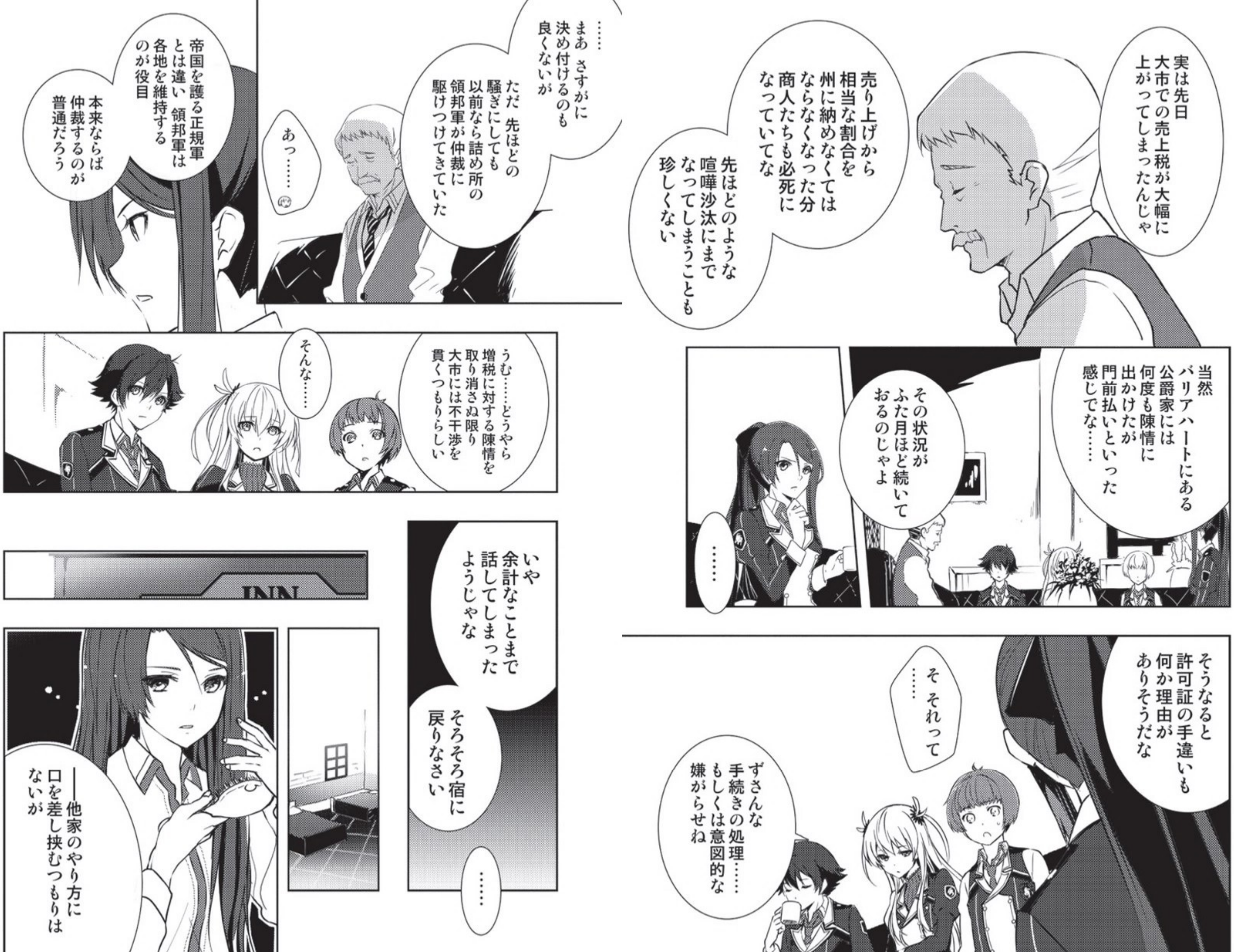
ふむ 一応
魔獣退治なども
入っているようだが
……
これは
もしかして…

いや……
なんでもない
……
ラウラ
どうか
したか？

ふぅ……
少ないと思ったけど
依頼を一通りこなすと
結構時間がかかったね
ケルディックを
あちこち歩き回る
ことになったし
そうねー
依頼を見て
思ったんだが…
多分 実習の
目的のひとつには
そういったものも
あると思う
え？
なるほどね
実際 この町に
ついても本で読んだ
知識くらいしか
ないわけだし……
うーん…
そういった依頼を通じて
見えてくることも
ありそうだね
ああ 俺も
そう思ってさ
とりあえず今日の
依頼は片付けたし
もう少し周辺を
見て回ってから
宿に帰ろうか
うむ 帝国はとにかく広い
その土地ならではの実情を
自分たちなりに掴むというのは
得がたい経験になるだろう
僕 大市に
行きたいな～
バリアハート産の
宝石や毛皮は
見ておきたいわね
観光ではないぞ…
ザワ
ザワ
ザワ
ふざけんなあっ！
ばっ
ここは俺の
出店場所だ！
ショバ代だって
ちゃんと
払ってるんだぞ!?
ばんっ
それはこちらの
台詞だ！
許可証だって
持っている！
君こそ嘘を
言うんじゃない！
——あの
何かあったん
ですか？
うーん
店を開く場所を
巡っての
トラブルみたいね
ぎゃあ
ぎゃあ
あらまー
どちらも同じ場所の
許可証を持ってるって
言うんだけど…
——やれやれ
何をやって
おるんじゃ
ザッ
も 元締め……
オットーさん…

ここで争っては 他のお客さんの迷惑じゃ 向こうで事情は聞くから いったん 矛を収めるがいい
何とか話が 付きそうね
ああ この大市の 責任者らしいな
む…
おや
その制服 お前さんたちは もしかして……
それではあなたが 実習の《依頼》を？
うむ 士官学院の ヴァンダイク殿とは 旧知の仲での 適当な頼み事を 見繕って欲しいと 頼まれたんじゃ

それにしても 先程はお見苦しい ところをお見せした ……
結局 先ほどの 場所は交替で 使うことになった みたいですね？
うむ どちらの許可証も 本物じゃったからの
どちらも…？
市の許可証というのは本来 領主の名で発行されるもの 此度のような手違いは いささか腑に落ちぬのだが
そうじゃのう 本来であれば 公爵家が その管理を するのじゃが……
公爵家…
クロイツェン州を 管理する 《アルバレア公爵家》 ですね
うむ しかし最近 少しばかり面倒な ことになって いてな
面倒なこと ……？


実は先日 大市での売上税が大幅に 上がってしまったんじゃ
売り上げから 相当な割合を 州に納めなくては ならなくなった分 商人たちも必死に なっていてな
先ほどのような 喧嘩沙汰にまで なってしまうことも 珍しくない
当然 バリアハートにある 公爵家には 何度も陳情に 出かけたが 門前払いといった 感じでな……
その状況が ふた月ほど続いて おるのじゃよ
……
そうなると 許可証の手違いも 何か理由が ありそうだな
そ それって……
ずさんな 手続きの処理…… もしくは意図的な 嫌がらせね
……まあ さすがに 決め付けるのも 良くないが
ただ 先ほどの 騒ぎにしても 以前なら詰め所の 領邦軍が仲裁に 駆けつけてきていた
あっ……
帝国を護る正規軍 とは違い 領邦軍は 各地を維持する のが役目
本来ならば 仲裁するのが 普通だろう
うむ……どうやら 増税に対する陳情を 取り消さぬ限り 大市には不干渉を 貫くつもりらしい
そんな……
INN
いや 余計なことまで 話してしまった ようじゃな
そろそろ宿に 戻りなさい
……
――他家のやり方に 口を差し挟むつもりは ないが

此度の増税と露骨な嫌がらせはさすがに問題だろう
アルバレア公爵家当主……
えっとユーシスのお父さんだよね？いっそユーシスに相談するわけには……
難しいだろうな当主の決定は絶対だ
ましてアルバレア家は皇帝陛下に次ぐくらいの権力を持っているでしょうしね
あぁ〜
やっぱり無理かぁ〜
リィン
おはようラウラも素振りしに？
おはよう早いな
あぁつい習慣でな

俺もだよ
……
迷いもあったがやはり聞いておこう
――そなたどうして本気を出さない？
リィンに不自然な姿を見たラウラ
彼女の言葉にリィンはどう答えるのか……

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
センノキセキ
第４話
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
そなたの剣 そして太刀筋……
《八葉一刀流》に間違いないな？
《剣仙》ユン・カーファイが興した東方剣術の集大成とも言うべき流派
皆伝に至った者は「理」に通ずる達人として《剣聖》とも呼ばれるという
詳しいんだな 帝国ではほとんど知られていない流派のはずなんだけど
父に言われていたのだ『剣の道を志すならばいずれ八葉の者と出会うだろう』と
《光の剣匠》が？ はは 光栄というか恐れ多いというか……
……
確かに一時期ユン老師に師事していたこともある
俺は……ただの"初伝"止まりさ
だが 剣の道に限界を感じて老師から修行を打ち切られた身だ
え……
その だから手を抜いてるわけじゃないんだ
八葉の名を汚しているのは重々分かっているけど……
これが俺の"限界"だ 誤解させたのなら すまない
……

リィン 私に謝る 必要は――
ガチャ
大変だ！ 大市で事件だ！
ワイ ワイ
よくも私の屋台を…！ この卑しい 田舎商人め!!
そっちこそ 俺の場所を 独り占めしようと したんだろうが!!
あの人たちは… 昨日の商人 じゃない？
ああ 今度は どうしたんだ…？
今朝来たら あのふたりの商人の 屋台がどっちも めちゃくちゃに されてた上…
商品までまるまる 盗まれてたみたい なんや
ひ ひどい…
……あら？
あ！ あなた！ V組のベッキー！ なんでここに!?
やっと 気づいた？

こんな早朝から何事だ!
騒ぎを止めて即刻解散しろ!
元締め説明してもらおうか
う うむ…
あれが領邦軍か…
……なるほどな
ならば話は簡単だ
おい ふたりとも引っ立てろ!!
なっ……!?

互いの屋台が破壊され
商品までもが盗まれた……
いがみあうふたりの商人が同じ事件を同時に起こした――そう考えれば辻褄は合うだろう
そんな……!
さて どうする?
このまま騒ぎを続けるならそのように処理するだけだが?
捜査もせずに!? それってなかったことにしろって事!?
そういうことみたいだな……
うう……
しゅん…
フン それでいい 今後はあまりトラブルを起こさぬよう気をつけたまえ

我々も忙しいのでな
それでは失礼する
……
な なんとか騒ぎは収まったけど…
……
…くそっ
こんなの滅茶苦茶だよ!?
あれが領邦軍のやり方というわけか……
……やはり大市のトラブルにはまともに取り合う気がないようじゃ
ワシらが増税への陳情を取り消さん限りその姿勢を貫くつもりなのじゃろう
……
そうは言ってもまさかあそこまで露骨なんて……
オットーさんお願いがあります

今回の事件……
俺たちに調べさせてもらえませんか?
ええっ!?
屋台を破壊した犯人を私たちで見つけるというのか?
事件の調査なんて僕たちにできるのかな?
ふむ……大市でのことはワシら商人の問題じゃ心配はありがたいが……
そうよね……私たちだって素人には違いないし
うんうん♪悩んでるみたいね青少年
サラ教官!

あの 教官 今のお話 なのですが……
あ～……あのね
予想通りB班の方が グダグダになってる みたいでね…… ちょっとフォロー してくるわ
えっ…？ 今からB班の 実習地に？
けっこう 遠い……
そういうわけで こちらは君たちに 任せたわ
自分たち自身で 何をすべきかと 考えたゆえの答えに 従って せいぜい がんばりなさい
女神(エイドス)の加護を レポート 期待してるわよ
あ……
……ふむ

なるほどね 確かにこれも 特別実習のうち なのかもしれないわ
う うん ちょっと不安だけど 僕たちだけで やるしかないよね？
それでは ワシから改めて 調査をお願いすると しようかのう
はい！
お前さんたち ……
！
あれは 《紫電(エクレール)》の君……！ こんな所で お目にかかるとは
フッ…… まあいい 行くとしようか
バサッ

うーん
調査するって決まったのはいいけど
なーんか忘れてる気がするのよねー
アリサ！リィン！
こっちやこっち！
忘れとるやろ！
そうだベッキー!!
完全忘れてた。
ベッキーはどうしてここに？
そういえば今日の実習課題に『大市商人の体験』というのがあるが…
よろしゅう
ウチの父親がここで商売しててなそれの手伝いや！
そうそう それウチのとこやで！よろしく♪
そうだな まずは実習だ しかしお店のお手伝いか…
商売するってこと？ 僕たちにできるかなぁ…
ほれ チラシ撒きと配達ぐらいできるやろ？事件調査もしながらウチの店の宣伝もできる！
一石二鳥や！ウチ頭いい～♪
うわ こんなに!?
ドサーー
ハインツさんよ元気だしぃや
ライモンさん…
許せませんよ…間違いなくあの男が犯人なのに…！
あの場所で私と順番に商売をするのが気に入らなくて犯行に及んだに違いない…！
あ あの…
ゆうべあった事を詳しく聞かせてもらえますか？
ああ…

ハインツさん 昨日は開店準備だけしたあとすぐ帰っとったな
ええ でも屋台から目を離したのは失敗でしたよ
今朝来たら売り物の装飾品を根こそぎとはね…
な なんかかわいそうね…
もうひとりの商人の話も聞いておきたいな 確かマルコさんとかいう…
ん 君らは確か士官学院の生徒とかいう？…
……へぇ 君らが調査をね ふ～ん……
流石に信頼はされてない感じね……
あの 昨夜の事件があった時のことを聞きたいんですが……
事件があった時のことねぇ……
つっても あの帝都の商人との揉め事が終わった後はさっさと帰っちまったんだよな
ちくしょー
商売仲間の家に転がりこんで朝まで愚痴りながらヤケ酒かっくらって……
今朝来てみたら商品の加工食品全部だぜ？
へなへな
はぁ～…
うーーん
町の人の話も合わせて聞いてみた感じだとふたりともアリバイはあるみたいね
僕にはやっぱりあのふたりのどっちかが犯人なんて思えないよ
…ねえ？ リィン
ああ きっと犯人は他にいるはずだ

まだお店のお使いも残ってるし… 他にも事件の目撃者がいないか もっと当たってみよう
うん！
あ あの… 大丈夫ですか？ 随分酔ってるみたいですけど…
こんな いきなりクビにされちまうようなロクデナシはよぉ～…… 自然公園の管理は俺の生きがいだったのによぉ～……
ヒック
うるっせぇなぁ…… おじさんのこたぁほっといてくれよぉ……
クビ……？

そうなんだよ いきなりなんだよ～
いきなりクロイツェン州の役人サンがやってきてさぁ…… ひでぇよなぁ～ おじさんはさぁものすご～くがんばって仕事してたんだよぉ……？
そっ それは大変でしたね…
あんなチャラチャラした若造たちよりおじさんの方が絶対いい仕事するよなぁ～……？
？
チャラチャラした若造……？
あぁ…… おじさんは昨日の夜もここで飲んでたんだ……
そしたら管理員の服を着た若造たちが 西口の方から出てったんだよぉ……
あんな夜中に木箱やらなにやら抱えて走ってってなぁ…… 若ェやつはこれだからよぉ～……
木箱……？
新たな手がかりを得たリィンたちは
無事に事件の解決をすることができるのか……!?

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
センノキセキ
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第5話
ドサッ
ゴトッ
ゴトッ
おっつかれ～！
ぱっ
今日のお使いはこれで終了や！
で？どやった？聞き込み調査は何かいい話聞き出せたん？
…どうだ？リィン
さっきの酔っ払っていた人「役人サンがやってきていきなり…」と言っていたな
自然公園の管理員を解雇された人ね
★新たな手がかりを得た一同は事件の真相へと迫っていく――！

そして今朝の領邦軍の喧嘩の対応の早さ…
領邦軍が犯人となんらかの関わりを持っていて 管理員を交代させたとしたら……？
自然公園か…盲点だったな
木箱を運んでいた…ってあからさまに怪しいわよね～
公園というならそれなりに広いスペースもあるだろうし盗品を隠す場所にしてもいくらでもありそうだ
ああ ここの西の街道先でそう遠くもない
よし さっそく自然公園を調べに…
待って！
エリオット？
その前に…
領邦軍からも直接 話を聞いてみない？
えっ…!?

領邦軍詰所前
……やれやれ 我々も忙しいのだが
士官学院の生徒か… まあいい 手短に用件を言ってみたまえ
取り次いではもらったけど あからさまに迷惑そうね…
ぼそ
こういう時にこそ士官学院の身分を有効活用しなくてはな 軍の後輩にあたるわけだし
では単刀直入にお聞きします
今朝の屋台の事件ですが 領邦軍としてはあれ以上の調査を行わないおつもりですか？
フン 何を言うかと思えば……
いいか？
我々領邦軍が各地を維持するにあたってもっとも重要なものが分かるかね？
それは各地を治める領主―― 我々の場合はアルバレア公爵家―― 彼らの意向ということになる
貴族の命令は絶対だ 我々はその意向に従い守るべきものを冷静に判断しているだけなのだよ
公爵家に出されているという“増税取りやめの陳情”…… それを取り下げない限りケルディックの大市は“守るべきもの”ではないと？
フン…好きに解釈したまえ
面の皮が厚いわね
ああ…… 何か手がかりが得られるかもと思ったけど……
……あ あのっ……
僕からひとつ いいですか？
被害者のマルコさんが取り扱っていた商品ですけど
あの装飾品の行方がどうなったか分かりますか？
……？
何を言っている
装飾品を扱っていたのは あのハインツとかいう帝都の商人の方だろう
――え

今 なんて……？
じっ…
……な なんだ
どうして そんなことを詳しく知っているんですか？
この事件について領邦軍はろくに調査していないはずですよね？
ふむ…我々も先刻の聞き込みで知ったばかりの事なのだが？
た 隊長……！
わ……我々も独自の情報網を持っているということだ！
——さぁ話は終わりだ！これで失礼する！
バタン!!
……
…ねぇ 今の話って…？
多分…今回の事件は少し前から計画されていたんだよ

あの商人たちをわざといがみ合わせそのほとぼりが冷めないうちにさらに事件を起こす……
そうして領邦軍なしではどうにもならない状況まで騒ぎを悪化させたんだ
だが陳情が取り下げられない限り領邦軍がトラブルにまともに取り合うことはない…
あのタイミングで現れ強引にでも事態を収集することで領邦軍の存在をアピールした……
そうやって大市の人たちに陳情を取り下げざるを得ない状況を作ろうとしたのね
にっ
やったじゃないエリオット！
た…たまたまだよ
ふふ そなたはなかなかに策略家だな
……さて さっそく犯人を見つけ出して捕まえたいところだが……
おそらく実行犯は別にいるはずだ
あの領邦軍が自らの手を汚してまで事を起こすことは考え難い
クロイツェン州からの命令でそんな状況が作られたとすると……思った以上に真っ黒みたいね
うん……！

よし 改めて ルナリア自然公園の 調査に向かおう!
ルナリア自然公園 最奥
ザザ
へっ… 何気にいい 稼ぎになったな
ゴトッ
これでも連中が 陳情を取り下げ なけりゃ もうちょい 稼げるってことか
しっかしあいつら いったい何者 なんだろうな? 領邦軍の兵士にも 顔が利いてる みてぇだし
さてな…… 何を考えてるのか さっぱり判らん男 だったからな
まあいい いつでもここを 離れられる ように 準備を——
——甘いな
!?
ザザッ
この場合 現行犯逮捕が 認められる状況 なのかしら?
なっ
なんだ おまえらは…!

これだね 盗まれた 商品は…!
ばっ
こいつら… 入口のカギを 壊してまで 来たのか…?
ハッ ガキどもに何が できるってんだ!
やっちまえ!
大人しく 捕まる気は ないようだな
ああ 行くぞ!
だっ
……
くっ……
ウソだろ…… こんな ガキどもに……
ぐったり
やれやれ 口ほどにもない 連中だ

勝負はあった 投降して 大市の人たちにきちんと謝罪してもらうぞ
シャリ…
それと"誰"に頼まれたのかも話してもらう必要がありそうだな?
ぬっ
うむ。
ぐっ…!
ん…?
きょろ
エリオット?
なんだか笛のような音が聴こえたような気が——
!?
な 何…? なんの音…?
バキ
バキ
バキッ
!!
ち… 近づいてくる…!?
ドドドドドド
ばっ
きょ…巨大なヒヒ……!? なんて大きさなの!?
この自然公園のヌシといったところか……? どうする リィン!?
くっ… 《ARCUS》の戦術リンクをなんとか使いこなせれば……
みんな撃退するぞ!

きゃあっ!?
ドゴォッ
アリサ!
エリオット!
大丈夫!
回復は
僕にまかせて…!
リィン!
私が奴の気を
引きつける
そなたは背後を!
わかった!
みんな
元気を出して…!
《ARCUS》駆動――!
う…
えいっ!
頑張って
みんな…!
たあっ!!
うあっ…!
よろ
!?
今だ!
リィン!!
すっ

焔よ
我が剣に集え——
はあああああっ

斬!!!

……
や…
やったわね…
はぁ~
どうなるかと
思ったよ…
見事だ リィン
今しがた
見せたのは…?
あぁ……
今まで実戦では
ロクに使えなかったん
だが……なんとか
コツが掴めたみたいだ
すごいや
リィン!
ほんと
ここぞという時に
やってくれるわね~
いや
みんなの力を合わせた
A班全員の“成果”だよ

……
ラウラ 今朝は
済まなかった
“剣の道”を軽んじる
言葉を言ってしまった
『ただの初伝止まり』
なんて 考えてみれば
失礼な言葉だ
……老師にも
八葉一刀流にも
私は
身分や立場に
関係なく
どんな人間も
誇り高くあれると
信じている
ならばそなたは
そなた自身を
軽んじた事を
恥じるべきだろう
ラウラ……
リィン
“剣の道”は
好きか?
好きとか
嫌いとか
もうそういった
感じじゃないな
あるのが
当たり前で……
自分の一部
みたいな
ものだから
ならばよい
私も同じだ
……と
とんでもねぇ……
こんな連中が
出てくるとは……
あの野郎……
話が違うじゃ
ねえか……

"あの野郎"…？
手を上げろ！
抵抗は無駄だぞ！
ザッ
え……!?
りよ…
領邦軍…！

へへ…
頑張ったみてぇだがここまでのようだなア？
……
何故そこの彼らではなく我らを取り囲むのだ……？
ジャキッ
口答えをするな……！
完全に野盗とグルじゃないか…！
呆れ果てたわね…
……なんの話かな？
確かに盗品もあるようだが彼らがやった証拠はなかろう可能性でいうならば……
"君たち"の仕業…ということもあり得るのではないか？
ええっ!?

ほ…本気でそんな事がまかり通るとでも……？
フン 手を引かぬというならば……
このまま容疑者として拘束しパリアハート市に送ってもいいが？
……！
その必要はありません
スッ
なんだ…？
ザッ
ザッ
あれは…
鉄道憲兵隊……！
ア
アイスメイデン
《氷の乙女》……
《鉄血》の子飼いがどうして……
ザァ
こっ…この地は我らクロイツェン州領邦軍が治安維持を行う場所…！貴公ら正規軍に介入される謂れは…
お言葉ですがケルディックは鉄道網の中継地点でもあります
そこで起きた事件については我々にも捜査権が発生する…その事はご存知ですよね？
そして元締めの方たちを始め 関係者の証言から判断するに
こちらの学生さんたちが犯人である可能性はあり得ません
何か異議はおありでしょうか？

ぐっ……
──撤収！ケルディックに戻るぞ！
は　はい……！
バタ
バタ
…拘束してください
ジャキ
ッ
お おいおい領邦軍！そりゃあねえだろ⁉
俺たち置いて逃げるのかよ⁉話が違うじゃねえか
……鉄血の狗が
……
バタ
バタ

綺麗な人……
ここんな人が鉄道憲兵隊の……？
ミ
ふふお疲れ様でした
にこ。
私は帝国軍・鉄道憲兵隊所属──クレア・リーヴェルト大尉です
調書への協力ありがとうございました
今回の事件解決はあなた方のおかげですオットー元締めもとても感謝していました
そ そんな…私たちの方こそ協力していただいて…

いえ 正直なところ
余計なことをしたかも
しれません
あらゆるトラブルも
含めての《特別実習》
かもしれませんから
――さすがに
そこまでは考えて
ないけどね～
……サラさん
教官…!
……お久しぶりです
半年ぶりくらいかしら
それにしても
《氷の乙女(アイスメイデン)》と呼ばれる
アンタがここに
出張ってくるとはね～
それでは皆さん
私たちはこれで
失礼します
特科クラス《VII組》
私も応援させて
頂きますね
ザ
あの…教官の
お知り合い
なんですか?

……ま
色々あってね
さて 特別実習も一通り
片付いたみたいだし
あたしたちもここの人たちに
挨拶を済ませたら
お暇しましょうか!
ゴオォォ
ゴトン
初めての
《特別実習》……
何を目的としているのか
なんとなく判ってきた
気がするな…
ゴトン…
そうね やっぱり
《ARCUS》の
テストはあくまで
目的のひとつ……
私たちに色々な
経験を積ませるのが
目的なんでしょうね
色々な経験か……
……

……みんな…ひとつ聞いて欲しいことがある
入学して《Ⅶ組》に入ってひと月が経って……考えればみんなにはずっと不義理をしていたと思ってさ…
ゴトン、
え…？
実はみんなに黙っていた事があるんだ
ゴトン
……俺の"身分"についてだ
ゴトン
ゴトン…
……
サァ…
ゴトン…
やれやれ あのタイミングで《氷の乙女(アイスメイデン)》が現れるとは……
少々 段取りを狂わされたな
……想定の範囲内だ
《鉄道憲兵隊》と《情報局》……その連携パターンが見えただけでも大きな成果といえるだろう
フフ 確かに それではこのまま《計画》を進めるとしようか？
ああ…もちろんだ すべては"あの男"に無慈悲なる鉄槌を下すために
すべては"あの男"の野望を完膚なきまで打ち砕かんために…！
なんとか事件を解決に導いた《Ⅶ組》一同
だがその裏で、新たな"影"が躍動を始めていた……!?

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第6話
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
5月 トールズ士官学院 職員室——
トマス教官 書店に頼まれていた 本をお持ちしました
おお～これは『獅子戦役の謎』！ 確かに私が注文しておいたモノです
おふたり 書店の配達を？
はいっ
メアリー教官
こちらは 教頭先生の ですね
こちらは ナイトハルト教官 で……
ああ 助かる
まあ 生徒会の お手伝いですか
……うむ ご苦労
★次なる特別実習は貴族制が色濃く残る《翡翠の公都》バリアハート！
マカロフ教官が 見当たりません ね……
あ～ その雑誌は 俺のだな
ん～…あと 見てないのは 屋上だな…
これも 生徒会の 手伝いねぇ…
やべ 灰皿 忘れたわ
リィン 水の入った ビーカーなんて 持ってねーかな
ありませんよ…

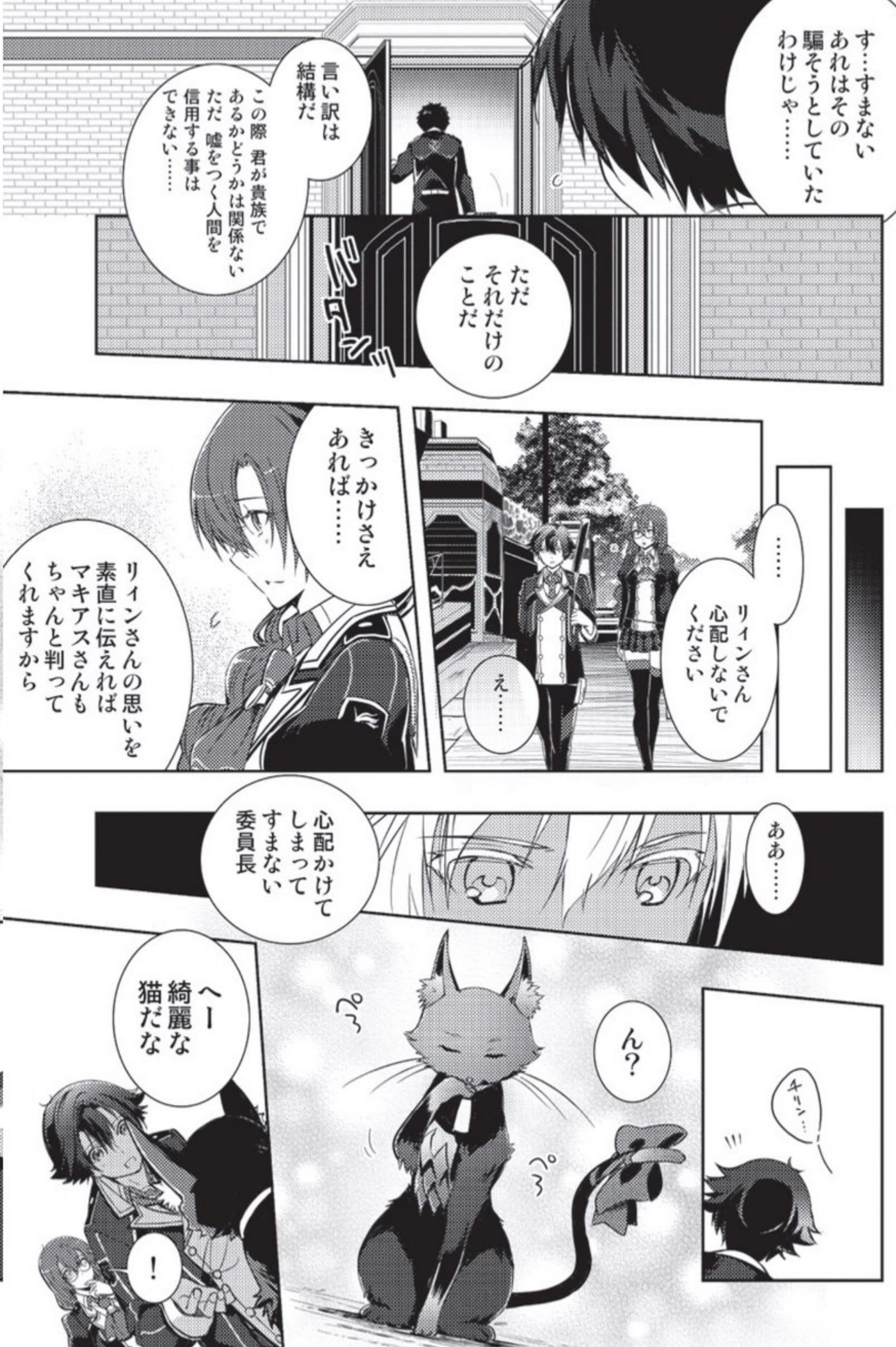
ありがとう委員長
手伝ってくれて
助かったよ
いえいえ
結構 本の量も
ありましたし…
いつでも
呼んでくださいね
さっき
買っていたのは
参考書か?
はい 中間テストが
近いので これは
フィーちゃん用の
参考書です
え?
フィーの?
クラスメイトの
勉強まで
見るなんて
さすが首席だな……
テストか…
俺も頑張らないと
…やあ
トワの手伝い
頑張っている
ようじゃないか
!?
これは自転車…
いや
導力仕掛け?
リィン君だね
トワと
ジョルジュから
君のことは色々と
聞いているよ
先月の
《特別実習》でも
見事 活躍した
そうじゃないか
あ…
あなたは?
——アンゼリカ
アンゼリカ・
ログナーだ
よろしく頼むよ
えっ…!!
四大名門の!?
《ログナー
公爵家》
……
は——…
ハハ さすがに
知ってたかい
まあ そこの
不肖の娘といった
ところかな

そちらの君も
VII組の子だね
あっ はい
エマ・ミルステイン
と申します
まじ
まじ
ふ〜〜ん…
!?
よろしくね
子猫ちゃん…★
おいおい…
その位に
しておけよ
ザッ
よう 後輩君
あっ…!
あなたは…!

クロウ先輩…
もう賭け(ギャンブル)には
付き合いませんよ?
ハハ 別に
騙し取るつもりじゃ
なかったんだがな
そうそう あれ
どうやったか
判ったか?
足元の巾着
バレてる
……
ま 50ミラは
きっちり
返してやるから
……
えーと…
ゴン
ゴン
……
悪い
10ミラしか
入ってねーわ
いいですよ
もう……
50ミラくらい
大した額じゃ
ないですし
ねー
お
そうか?
こらこら
いたいけな
後輩から
たかるんじゃない

しっかしゼリカ こんな時間から 遠乗りかよ？
ひとっ走り？
ああ 導力エンジンの 強化がやっと終わって くれたからね
帝都あたりまで ひとっ走り してくるかな
ああ こいつは『導力バイク』つって……
《ルーレ工科大学》で 試作されていたものを ジョルジュが 完成させてな
パーツの資金は ゼリカが提供して 俺とトワも製作を 手伝ったんだぜ？
へぇ……
トワ会長や ジョルジュ先輩とも 親しいんですか？
ま 全員クラスは 違うが1年の時 からの腐れ縁って やつだな
クラスが違っても 仲がいいなんて 素敵な関係ですね
君たちは Ⅶ組なんて 特殊なクラスに いるんだ
仲間とすぐにでも 打ち解けそうだが… 何か問題でも あるのかい？
あっ… えっと…
フフ それじゃあ
す… 凄い…！

……
クラスの仲間…か
……
リィンさん…
今日のこと気にして…
男爵家？
ああ アリサたちには先日話したんだが…
帝国北部の山岳地《ユミル》——そこを治めている《シュバルツァー男爵家》が俺の実家になる
リィンさんも貴族だったのですね
いや
俺は"養子"だから貴族の血を引いているわけじゃないんだ
それでも 皆には黙っていられなくなったんだ
え……
これからも同じ時を過ごす《VII組》のメンバーとして
リィン…
……そうだったのか
色々な事情があるようだな
はは そんな大層な事情じゃないけど……
ガタッ
マキアス……！
「少なくとも高貴な血は流れていない」…か
フッ よく言ったものだ


す…すまない あれはその 騙そうとしていた わけじゃ……
言い訳は 結構だ
この際 君が貴族で あるかどうかは関係ない ただ 嘘をつく人間を 信用する事は できない……
ただ それだけの ことだ
……
リィンさん 心配しないで ください
え……
きっかけさえ あれば……
リィンさんの思いを 素直に伝えれば マキアスさんも ちゃんと判って くれますから
ああ……
心配かけて しまって すまない 委員長
ん?
へー 綺麗な 猫だな
!

よーし よーし
街の誰かが 飼ってるの かな?
ニャン ニャン…★
ゴロ ゴロ
はは 気持ち いいか?
ひょいっ
オスかな メスかな?
それにしても こいつ 美人というか 美猫っていうか ……
ふしゃあっ
うあっ!
調子に 乗りすぎた ……
リィンさん! 大丈夫ですか!?
すっっ すみません!! すぐに手当てを しますから!
へ?

委員長の猫だったのか？
あっいえその……
何度か見かけた事があって
ふぅん
それからまた慌しい学院生活を送り……
ふたたび実技テストの日を迎えた
実技テストお疲れ様！
中間テストが迫って各自慌しくなってると思うけど今月も特別実習を行うわ
【５月特別実習】
A班
リィン　エマ
マキアス　ユーシス　フィー
(実習地：公都バリアハート)
B班
アリサ　ラウラ
エリオット　ガイウス
(実習地：旧都セントアーク)
バリアハートは東部にあるクロイツェン州の州都……ユーシスの故郷だよね
セントアークは南部にあるサザーラント州の州都になるわ
――冗談じゃない！

サラ教官！いい加減にしてください！何か僕たちに恨みでもあるんですか!?
茶番だな こんな班分けは認めない 再検討してもらおうか
え～？あたし的にはこれがベストなんだけどな～
《翡翠の公都》……貴族主義に凝り固まった連中の巣窟っていう話じゃないですか！
確かにそう言えるかもね だからこそ君もA班に入れてるんじゃない
……っ！
うーん そんなに異議があるなら……
いいわ
な……!?
導力銃に……剣!?
なな なんて凶暴そうな…
……あーあ
ふたりがかりでもいいから力ずくで言うことを聞かせてみる…？
くっ……
その冷静さを欠いた判断力…道理で散々な成績だったわけだ
……なるほどな
ちょ ちょっとふたりとも…！
なに……？

先月のB班の特別実習に付けられた評価は"E"……普通の試験なら赤点レベルの落第点だ
ふたりが一緒だったことによって取った"E"…次の実習で挽回したいとは思わないのか
そ それは…
また そんな成績を取るつもりか？
フン だからわだかまりを捨てて仲良くしろとでも言いたいのか？
そこまでは言ってないさ 皆 立場も違えば考え方も違う
譲れない事だってあるだろう
だけど同じ班になった以上"友人"じゃない同じ時間と同じ目的を共有する"仲間"だ
と同時にアリサやガイウスたちB班に負けないための仲間じゃないか？
う……
実際 アリサさん ラウラさん エリオットさんは前回と同じ班ですし……
ガイウスさんならどなたとでも合わせてくれそうですね
今度のB班のチームワークは心配なさそう
判った──もういい!!
今回の実習が終わるまでは少なくとも休戦する……! いいな!?
フン そのくらいの茶番に耐える忍耐力なら発揮してやろう
やれやれ……
よかった～
ちょっとだけ安心
これで少なくとも一緒に行動できそうですね！
どんな実習だったんだ……!?
あらぁ…ちょっと残念☆
それじゃあA班・B班共に週末は頑張ってきなさい♪
お土産期待してるから～♥

ガタ
ゴトン…
──特別実習一日目
ざわ
バリアハート駅
ざわ
ばっ
ユーシス様！お帰りなさいませ！
ささお荷物をどうぞ
ご学友の方々も預からせていただきます
す凄いですね……
今回は士官学院の実習で戻ってきただけだ過度な出迎えは不要と連絡が行っているはずだが？
──ユーシスの言うとおりにしたまえ
そ そうは言われましても
フン駅員総出でわざわざお出迎えとは……
いかにもVIPって感じ
え……
ル
ルーファス様!?
ざわっ
あ兄上……!?
親愛なる弟よ3ヶ月ぶりくらいかな？

いささか早すぎる再会だが よく戻ってきたと言っておこう
はい 兄上も壮健そうで何よりです
ルーファス・アルバレア
ユーシスの兄にあたる
そして そちらが弟からの手紙にも書いてあった…
《Ⅶ組》の諸君というわけか
は！ はい
まあ 恥ずかしがり屋の弟のことだ 私という兄がいることなど諸君には伝えていないだろうがね
ユーシス遊ばれてる
……
あ 兄上…！
リィン君 テオ・シュバルツァー男爵からは その昔鷹狩りの作法や心構えを教わったこともあるが……
今も壮健でいらっしゃるのか？
父をご存知なのですか…！ はい 相変わらずの狩り道楽ですが
それは重畳… そしてそちらは
レーグニッツ知事のご子息だな？
……
ええ ご存知でしたか
最近 帝都の行事などで何度か顔を合わせていてね
これも何かの縁だろう 今後とも弟をよろしく頼むよ
そ それは…
その 前向きに検討させていただきます
フフ 結構
さあ 今回の実習の課題だ 父の代理として私の方で一通り取り揃えた
本来ならば今宵饗応の席を用意したかったのだが…… あいにくこれから帝都に出向く用事が入ってね
帝都へ…… 飛行船で行かれるのですか？
父上の名代でね

フフ この兄がいないのがそれほどまでに寂しいのかな？
ご…ご冗談を
ハハ 無愛想な弟だがよろしくしてやってほしい
改めて―― ようこそ《翡翠の公都》バリアハートへ
歓迎させてもらうよ 士官学院《Ⅶ組》の諸君
ホテル・エスメラルダ
うわぁ…！
大きなホテルですね
高級そう…
……ルーファス・アルバレア 貴族派きっての貴公子という噂は耳にしたことがあったが……
何というか……すごく出来た方みたいですね
ああ 下級貴族である父への配慮もしてくれたし
それにユーシス なんだか弟っぽかった
……フン 妙なところを見られたな

しかしこのタイミングで兄上が不在になるとは……少々 誤算だったな
え……？
どういう事だ？
こちらの事だ すぐに部屋に荷物を置いて実習の課題を始めるとしよう
カサ
貴族の方に職人の方……様々な依頼が来ていますね
あぁ
魔獣退治の方はちょっとメンドくさそう
このオーロックス砦に報告しろというのは何なんだ？
東のオーロックス峡谷の先に領邦軍が利用する中世の砦がある 魔獣退治はそこからの手配ということだろう

よし それじゃあA班の実習活動を開始しよう
B班で頑張っているアリサたちに負けないためにも…… 各自 全力を尽くそう！
ん
はいっ
……ああ
いいだろう！

波乱のA班―実習開始！